

### 外部評価軽減要件確認票

事業所番号	23702002309
事業所名	グループホームふくろう

【重点項目への取組状況】

重点項目①	事業所と地域とのつきあい（外部評価項目：2） 自治会に加入している。校区の祭り等のイベント運営に携わっており、地域の中心に立ち事業活性に貢献している。長年の運営実績を活かし、包括の新事業所立ち上げ時には相談に乗ったり助言をして相互に協働関係を深めた。ホーム周辺の公道のごみ拾いを積極的に行ったり、感染対策の下近隣の公園や美術館に散歩に出かける際には住民と挨拶を交わし、地域に根差し馴染みの関係を築いている。	評価 ○
重点項目②	運営推進会議を活かした取組み（外部評価項目：3） コロナ感染対策として書面での開催を行っているが、年明け開催は対面で実施できた。自治会長、民生委員、包括職員、知見者等、13名で構成員で会議を行い、活発な意見交換の場となり相互に関係性を深めている。運営の報告、地域問題、介護法改正についての質疑応答し、運営の向上や、地域活動に反映し地域貢献に繋げている。議事録は参加自粛している家族へ送付し周知している。	評価 ○
重点項目③	市町村との連携（外部評価項目：4） 市長寿介護課や広域連合とは日常的に繋がりを持ち、常に連絡を取り合って相互に協働関係を深めている。包括支援センターが変わり、新たな関係構築にも協力体制を深め、良好な関係を築けている。市町村主催の研修は積極的に参加しており、職員の育成にも役立っている。	評価 ○
重点項目④	運営に関する利用者、家族等意見の反映（外部評価項目：6） 毎月「ふくろう通信」を発行、運営推進会議議事録と共に送付して、運営の実情と利用者の日常の様子を詳細に伝えるように努めている。家族や利用者からの要望は、朝礼や全体会議で職員間で周知、検討して、改善できることは即反映する様に努めている。家族との関係性を継続するために、面会等の方法についてもコロナ感染の状況を見て改善できる様に検討されている。	評価 ○
重点項目⑤	その他軽減措置要件	○
	○「自己評価及び外部評価」及び「目標達成計画」を市町村に提出している。	○
	○運営推進会議が、過去1年間に6回以上開催されている。	○
	○運営推進会議に市町村職員等が必ず出席している。	○
総合評価		○

1. 外部評価軽減要件

- ① 別紙4の「1 自己評価及び外部評価」及び「2 目標達成計画」を市町村に提出していること。
- ② 運営推進会議が、過去1年間に6回以上開催されていること。
- ③ 運営推進会議に、事業所の存する市町村職員又は地域包括支援センターの職員が必ず出席していること。
- ④ 別紙4の「1 自己評価及び外部評価」のうち、外部評価項目の2、3、4、6の実践状況（外部評価）が適切であること。

2. 外部評価軽減要件④における県の考え方について

外部評価項目	確認事項
2. 事業所と地域のつきあい	(例示) ① 自治会、老人クラブ、婦人会、子ども会、保育園、幼稚園、小学校、消防団などの地域に密着した団体との交流会を実施している。 ② 地域住民を対象とした講習会を開催若しくはその講習会の講師を派遣し、認知症への理解を深めてもらう活動を行っている。
3. 運営推進会議を活かした取組み	(例示) ① 運営基準第85条の規定どおりに運用されている。 ② 運営推進会議で出された意見等について、実現に向けた取組みを行っている。
4. 市町村との連携	(例示) ① 運営推進会議以外に定期的な情報交換等を行っている。 ② 市町村主催のイベント、又は、介護関係の講習会等に参画している。
6. 運営に関する利用者、家族等意見の反映	(例示) ① 家族会を定期的（年2回以上）に開催している。 ② 利用者若しくは家族の苦情、要望等を施設として受け止める仕組みがあり、その改善等に努めている。 ③ 家族向けのホーム便り等が定期的（年2回以上）に発行されている。

【過去の軽減要件確認状況】

実施年度	21年度	22年度	23年度	24年度	25年度	26年度	27年度	28年度	29年度	30年度	R元年度
総合評価	○	○	○	○	○	◎	○	○	○	◎	○
実施年度	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度	R8年度	R9年度	R10年度	R11年度	R12年度
総合評価	◎	○	◎								